

ちよっと街歩き

鳩ヶ谷を訪ねる

(日光御成道教策)



身近すぎてあまりよく知らなかったところが多々あります。在住の方には大変失礼な言い方になってしましますが、その一つに「鳩ヶ谷」があります。鳩ヶ谷市は2011年10月に川口市と合併しており、市としてはこれ以降はなくなっています。

鳩ヶ谷は以前、鉄道の駅からは離れており、交通がバスなどに限られていました。しかし、地下鉄の埼玉高速鉄道（東京メトロ南北線と直結）ができてからは交通の便がずいぶんと良くなっています。

もともとこの鳩ヶ谷は昔「日光御成道」沿いの

宿場町として栄えたところで、なかなか歴史のある町なのです。

日光御成道は、文京区の中산道と分かれる本郷追分から出発して、埼玉の幸手で日光街道と合流するまでの街道です。途中、岩瀬宿、大門宿、岩槻宿など五つの宿場がありますが、鳩ヶ谷はそのうちの一つの宿場町でした。

鳩ヶ谷宿は、周辺の商業や文化の中心地として栄え、特に江戸時代の中頃に始まった三八市は、出店が並び、たいそうにぎわったそうです。その往時の繁栄の面影を、町のところどころで感じることが出来ます。

宿の中心は、見沼代用水にかかる吹上橋を渡って坂を登り切ったあたりの「中宿」です。現在は、本町商店街がその辺りで、江戸時代の町割りをほぼ残しています。



ところで、坂下にある吹上橋にはかわいい子ども像が飾ってあります。何か意味があるんでしょうね。また、橋下に流れる見沼代用水（東ベリ）の水量はさいたま市などと比べて少なかったのは、下流で終わりに近いからか。



さて、中宿あたりには今も古い商店が残っています。「丸西本店」という味のある酒屋さんが目につきました。昭和初期あたりの建物かもしれない。売っているお酒が美味しそうに見えるから不思議です。



坂の途中に「からくり時計」がありました。そばに「御成坂公園」という小さな休憩所のようなところがあった、「日光御成道・鳩ヶ谷宿」に関する解説などがあります。からくり時計に着いたときはちょうど3時だったので、時計のからくり人形が動き出すのを見ることができました。



そこから少し上がった

向かいには、これまたレトロな黄色い洋館があります。どなたのおうちなのか気になります。「からくり時計」から坂を見上げた風景が絵になります。



しばらく行ったら交差点角に「郷土資料館」があります。ここでじっくりと鳩ヶ谷の歴史を知ることが出来ます。

さらに北に進んで行くと、「慈眼寺（地藏院）」という古い歴史を持つお寺にたどり着きます。寺には鎌倉時代初期の慶派仏師による木造不動明王立像が安置されています。



ます。毎月28日には護摩祈願が行われていると聞きました。

また、この寺には「タブノキ（榎）」という楠のような大木があります。寺のご神木でもあります。ただヤブ蚊が多くて閉口しました。



お寺の近くに「巾ばし」という和菓子屋さんがあります。



川口元郷にある「錫杖寺（しゃうじょうじ）」からの依頼を受けてつくった「御成道まんじゅう」なるものと団子2本とカステラのラスクを買って食しました。まんじゅうの納め先の錫杖寺は、徳川将軍が日

光参内の際に休憩所として使われた幕府と深いつながりがある古刹です。

なので、葵のご紋が押されています。品の良い甘さのまんじゅうでした。



ということで、鳩ヶ谷散策は終了です。近くに歴史ある町があることを知ることができてお得な気分になって帰路につきました。



(追) この鳩ヶ谷は起伏に富んだところで、台地は10m以上の高さがあります。「谷」とついた地名は、台地との関係でその下の低地を表しているのかも知れません。